佐野二丁目北町会 地区防災計画

震災対策編 水害対策編

令和7年2月修正版 佐野二丁目北町会

目 次

震災対策編

1	地区防災計画【震災対策編】の策定について	5
2	計画策定・見直し活動記録	6
3	地区の特性と被害想定	7
4	地区防災計画の構成	8
5	防災区民組織の構成	9
6	防災資機材・備蓄品リスト	10
7	防災活動の持続的な取り組み	1 2
8	自助①自分の家族と命を守る「死なないための環境作り」	13
9	自助②地震発生時の心得	1 4
10	自助③災害後に命を守る「被災生活」中に災害死しない	16
11	まち歩きでの気づき 消火器、危険エリア 他	18
12 ·	・佐野二丁目北町会 地区防災マップ	19
13	情報収集手段	2 1

次

水害対策編

1	地区防災計画【水害対策編】の策定について	2 3
2	計画策定・見直し活動記録	2 4
3	地区の特性と被害想定	2 5
4	地区防災計画【水害対策編】の構成	2 7
	(1)水害の発生が想定される場合の行動〈コミュニティタイムライン〉	
	(2)在宅避難は相当過酷	
	(3)日頃の取り組み	

参考 令和元年東日本台風(台風第19号) あの日の足立区

台風第19号の接近に伴う足立区の対応 10月8日(火) 10月11日(金) 10月12日(土)

17:307:00 21:36 22:207:53 10月13日(日) 10月14日(月) 11:30 15:00 16:00 16:00 12:00 8:00 9:00 6:00 2:35 8:00 「**避難勧告」発令** 足立区全域に 避難所66か所開設 ※あだち区民まつり中止決定 足立区全域に「避難準備避難所14か所開設 「水防準備本部」設置 避難所10か所開設 避難所8か所開設※ほぼ全小・中学校が避難所に 緊急避難建物21か所の開放 緊急避難建物9か所の 綾瀬川流域の 緊急避難建物すべて閉鎖 「水防本部」解散 「災害対策本部」設置 避難所6か所開設 綾瀬川流域に を案内(区施設15、区以外施設6) 足立区全域の避難所を順次閉鎖 「災害対策本部」を解散「水防本部」へ移行 高齡者等避難開始」発令 「避難指示(緊急)」発令 「避難指示(緊急)」解除 開放を案内(区以外施設9) 「避難勧告」解除

	~	
_	-≺	_

震災対策編

地区防災計画【震災対策編】の策定について 1

(1) 地区防災計画の目的

私たちの住む地域は、土地区画整理後に発展した町で、道路が整備されて おり、避難経路の確保や、災害時の活動に支障をきたすことは少ないものと 考えられます。

一方で、昭和56年5月以前の旧耐震基準による木造建築物も多く、震度 6強のゆれで倒壊する危険性があります。

そこで、佐野二丁目北町会では、自助・共助により地域防災力を向上させ、 地区の被害を軽減することを目的に、「佐野二丁目北町会地区防災計画」を 策定しました。

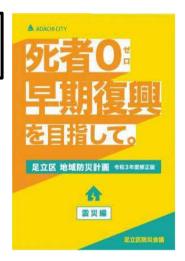
(2) 地区防災計画の位置付け

足立区地域防災計画 (区全体の実情に即した総合的な防災計画)

地域防災計画と地区防災計画とが連携 することにより地区の防災力を向上



地区防災計画 (居住者等による自発的な防災活動に関する計画)



区の「具体的事業計画」に反映される (防災訓練の実施、情報連絡体制の整備、防災に必要な物資や 資機材の確保、消防団との連携体制の強化等)

(3) 地区防災計画の対象、範囲等

1	対象とする災害	大地震
2	対象とする範囲	佐野二丁目北町会
3	本計画の対象者	町会員とその家族
4	対象とする時期	地震発生から 72 時間の緊急対応

2 計画策定・見直し活動記録

計画策定にあたり、以下の活動を行いました。
今後、計画見直しの際には、随時活動記録を残すこととします。

安恢左日日	内容)エミh = 1 e 3
実施年月日	記入者名	活動記録
令和 2 年 8 月 20 日	第1回策定会議	区災害対策課と計画策定要件の確認
13/11 2 4 6 / 1 20 11	記入者:長沼	区火日为米林飞时画水足女门 57唯品
 令和 2 年 9 月 17 日	第2回策定会議	計画素案を作成し検討
13/11/2 3/31/11	記入者:長沼	HEXX CHANGKII
 令和 2 年 10 月 22 日	第3回策定会議	 修正案を作成し検討
13/11/2 10/1/22	記入者:長沼	PEX CITIZONII
 令和 2 年 11 月 15 日	まち歩き防災点検	 消火栓、消火器、危険個所の確認
13111 - 1 117,3 10 11	記入者:長沼	May (IEC May Call Color Ind.)
 令和 2 年 12 月 28 日	第4回策定会議	 まち歩き防災マップ、計画案を検討
13/11/2 / 12/3/20 [2]	記入者:長沼	
 令和 3 年 2 月 10 日	第5回策定会議	 災害対策課校正案を検討
13/11/3 1 2/11/01	記入者:長沼	
 令和 3 年 2 月 26 日	第6回策定会議	 災害対策課と協議し全体を確認
13111 0 1 273 20 11	記入者:長沼	CINTRE MANAGER CARDO
 令和 3 年 3 月 17 日	第7回策定会議	 震災対策編を合意、具体化の検討
13111 0 1 0 7 3 1 7 11	記入者:長沼	
 令和 3 年 6 月 18 日	第8回策定会議	防災区民組織、防災資機材調達計画の具体
13/11/3 / 0/3 10 11	記入者:長沼	化を検討
 令和 4 年 4 月 14 日	第9回策定会議	防災組織参集基準変更、人員、防災資機材
13/11 7 47 77 17 11	記入者:長沼	調達品検討、防災マップ修正
令和6年9月26日	第 10 回改訂会議	地区の被害想定を更新、他計画の見直し
13/11 0 7 3/11 20 11	記入者:長沼	案について協議
 令和 7 年 2 月 5 日	第 11 回改訂会議	空周如長会にア校正宏大定業、アゼ
111111 / 牛 2 万 3 口	記入者:長沼	定例部長会にて修正案を審議・了承

3 地区の特性と被害想定

『東京都「地震に関する地域危険度測定調査」令和 4 年報告』より試算

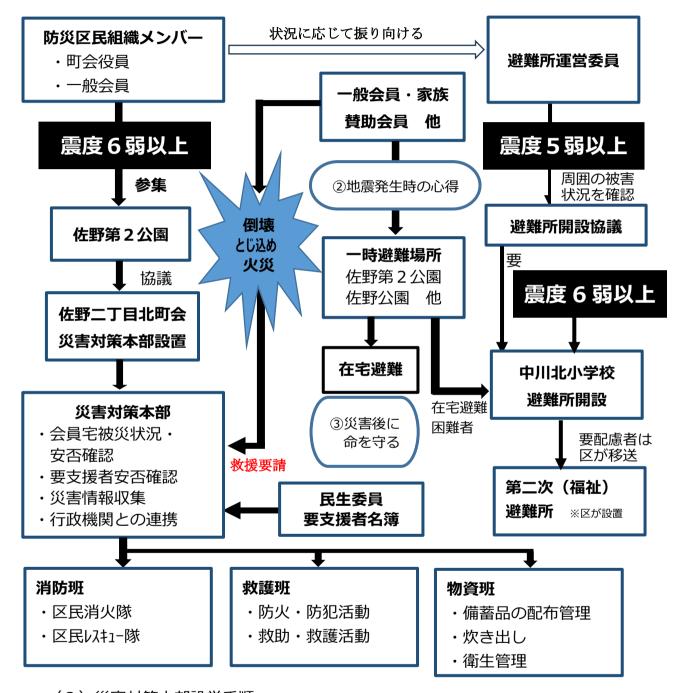
危険度ランク	1	2	3	4	5	合計
町丁目数	2,344	1,653	822	288	85	5,192
構成比(%)	45.1	31.8	15.8	5.5	1.6	100

※都内の町丁目の地震に対する危険性を相対的に評価するため、 全ての町丁目に同じ地震動の強さを設定して測定したもの

項目 エリア	佐野2丁目	六木 1 丁目	
① 建物危険度	建物倒壊の危険性		
危険量	4.77	2.66	棟/ha
想定全壊棟数	38.2	2.7	棟
順位	633	1345	
ランク	3	2	
② 火災危険度	火災発生による延焼の	の危険性	
危険量	0.34	0.24	棟/ha
想定全焼棟数	2.7	0.2	棟
順位	1322	1626	
ランク	2	2	
③ 災害時活動困難係数	道路の整備状況による	る活動の困難さ	
危険量	0.12	0.13	
地盤分類	沖積低地 5	沖積低地 4	
軟弱層の厚さ	40m 以上	25m~40m 未満	
増 幅 度	2.9	2.9	
町会エリア面積	8	1	ha

4 地区防災計画の構成

- (1) 地震発生時の行動
- < 会員宅の被災状況・安否確認、火災や救助など地域の防災活動を優先する >



(2) 災害対策本部設営手順

- ① 会員宅の被災状況・安否を確認しリストに記録 地区担当 4 人以上で出勤する。 緊急を要する事態に遭遇したときは本部に連絡
- ② 消火隊は消火・レスキューツールを展開し即応体制をとる。
- ③ その他の人員は、テント設営、物資の配置等リーダーの指示で行動する。

5 防災区民組織の構成

- ・防災組織のメンバーは町会役員と一般会員で構成する。
- ・各担当のコアメンバーは町会役員とし、不足する人員は一般会員で充足する。
- ・担当役員が参集できないときは、参集メンバーで役割を代行分担する。
- ・ 災 害 対 策 本 部 に 参 集 し た メ ン バ ー に は 、 町 会 備 蓄 品 に よ り そ の 活 動 を 支 援 す る 。

◆佐野二丁目北町会 防災区民組織◆

災害対策本部の構成と役割分担

役 割	担当 部役員	役員	一般会員
本部長	◎会長	1	
副本部長	◎防災部長	1	
総務担当	◎総務部長	2	
情報担当			
安否確認	◎地区部長、副部長	10	
地区情報収集	同上		
消防班 区民消火隊・レス キュー隊	◎育成部長、育成部(男) 区民消火隊登録メンバー	9	
救護班	◎交通防犯部、◎防火防災部	12	
	育成部(女)	5	
物資班	◎会計部、◎衛生部	9	
(給食活動)	◎婦人部	12	
	※◎は防災資機材倉庫の鍵管理者		

6 防災資機材・備蓄品リスト

分類	品名	単位	備考
本部	ビブス蛍光グリーン 責任者用	14	<u>™</u> -2
本部	ビブス ブルー メンバー用	106	
本部	大型テント 3K×6K	1	
本部	中型テント 2K×3K + 横幕	4	
本部	小型テント 1.5×2K + 横幕	5	
本部	ブルーシート	1	
本部	携帯型2.5Wデジタルトランシーバー	•	2024年11月購入ヘッドセット、充電器
本部	防災用携帯ラジオ	1	2027年11万勝八・フェビフィ、元电冊
本部	メガホン	2	
	LEDランタン パナソニック BF-BL40K-W	4	
	三菱重エポータブルガス発電機		交流100V 750VA
	カセットガス発電機並列運転ケーブル	1	並列接続 1500VA
	発電機用オイル SAE-10W301L缶	2	
	カセットガスボンベ イワタニ 48本/箱	2	96本 発電機 2 台24時間分
	カセットガスボンベ ニチネン250g 48本/箱		192本 発電機 2 台 48時間分
	LED三脚式投光器 AC100V	2	10年11 万电风车目10时间刀
本部	屋外用コードリール 防雨型30M	1	
	折りたたみ式リヤカーノーパンクタイヤ	1	 荷台 1200×800×440 最大150kg
給食	まかないくん30型基本セット		直炊飯米10Kgまで汁物28Lまで
給食	まかないくん30型LPガスバーナーセット		沸上がり時間28L水温10℃約25分
	LPガスタンク 8 Kg		蒲原燃料扱い
給食	折りたたみ式ウォータータンク10L	10	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11
衛生	BOS非常用トイレA 100回分/箱	12	交換目安 2032年8月
衛生	BOS非常用トイレA 100回/箱	6	交換目安 2033年8月
衛生	ポータブルトイレ	4	XIXIIX 2000 F 071
衛生	プライベートテント	4	
	LEDランタン吊り下げ用 BF-ALO2K-W		トイレテント内吊り下げ用
	ウエットタオルワイド 30枚16個		112個 +1箱(9個)
衛生	ウエットティッシュ防災用		160個
衛生	トイレットロール		未調達
	災害用救急箱 50人用	1	
救護	エアマット 191×73×22cm ポンプつき	10	
救護	パック毛布シングル 10枚 真空パック	1	
救護	アルミ防寒シート	200	
避難	ヘルメット 反射10mm1本線	20	
	LEDヘッドライト 単3乾電池式	40	
	ヘッドライト専用シリコンベルト	40	滑り止め
避難	LED点滅式誘導棒		
避難	懐中電灯		
消防	可搬消防ポンプ C-1級 一式	1	付属品一覧別紙参照
消防	レスキューツール 一式	1	セット内容別紙参照
消防	可搬スタンドパイプ 一式	1	
	長期保存水 アサヒ 500ml 24本		消費期限 2027年10月 144L
飲料	6年保存水 500mL 24本/箱		消費期限 2028年 8月 288L
飲料	6年保存水 2L 6本/箱		消費期限 2028年 8月 72L
飲料	7年保存水 2L 6本/箱		保存期限 2031年 360L
飲料	5年保存野菜ジュース 190g30本		消費期限 2027年
飲料	5年保存トマトジュース 190g 30本		消費期限 2028年
飲料	5年保存野菜ジュース 190g 30本		保存期限 2029年
	5年保存リポビタンゼリー 100g 80個	1	消費期限 2027年
	5年保存リポビタンゼリー 100g 80個	1	消費期限 2028年
飲料	5年保存リポビタンゼリー 100g 80個	1	保存期限 2029年

(2)C 級ポンプ付属品リスト

場所	付 属 品	単位	備考
2	吸水管 65Φ×8m	1	
2	吸管用ストレーナー 65m/m	1	
2	吸管用ポリカゴ 10mロープ付	1	
2	5 0 Φ管槍	2	
2	12型噴霧ノズル	1	
2	17型噴霧ノズル	1	
2	スピンドルドライバー	1	
2	消火栓鍵	1	
2	吸管枕木	1	
2	吸口ストレーナー	1	
2	消火栓媒介金具 650×650	1	
2	放口媒介 65Φ×50Φ	1	
2	ホーススパナー 500・600	2	
2	とび口 1.1m	1	
2	燃料携行管 10L	1	
	エンジンオイル 2サイクル用		未調達
2	ホース 50Φ 20m	8	
2	導水媒介金具 7 5 Φ× 6 5 Φ	1	
2	投光器 三脚付	1	
2	工具箱 工具一式	1	
2	懐中電灯 単一電池 2個	1	
2	台車	1	

(3)レスキューツールリスト

場所	救出救助用資機材	数量	備考
2	ノコギリ	5	2 6 5 mm片刃
2	鉄線鋏	4	全長320mm
2	ツルハシ	4	鉄製
2	掛矢	4	1 5 0 mm
2	大ハンマー	4	4.5kg
2	バール	5	900mm
2	単管パイプ	5	2 m
2	ロープ	1	直径12mm 100m巻き
2	カラビナ	5	ステンレス・O型
2	防塵メガネ	20	透明
2	簡易ジャッキ	3	2t 1個 4t 2個
2	軍手	6	打 12組
2	ガソリン缶 20L	1	
2	充電式チェーンソー	1	3.5Ahバッテリー 2、急速充電器
2	チャップス (防護服) ズボン	1	

7 防災活動の持続的な取り組み

- (1) 大地震に備える自助の取り組みを継続的に啓蒙
 - ① 自分と家族を守る「死なないための環境作り」
 - ② 被災生活中に災害死をしないための準備



- ※ 毎月回覧を回す等「しつこい」と言われる程徹底する。
- ※ 防災に対する区の助成制度を紹介する。
- (2) 防災資機材の棚卸し確認 年1回チェック
- (3) 防災訓練計画の策定と実施

	内容	備考
1	実行計画策定	4役と防災部で策定
2	災害対策本部 運営訓練	
3	消火器・消火栓位置確認訓練	
4	消火訓練	可搬消防ポンプ・スタンドパイプ操作 →神明出張所に相談
5	レスキュー訓練 救護活動訓練	救出救助資機材の確認
6	親子避難生活体験キャンプ	テント張り・非常食・非常用トイレ →場所は要検討

(4) 防災計画の実践・検証・改善 防災訓練実施後、定例役員会で検討する。

8 自助① 自分と家族の命を守る「死なないための環境作り」

~事前の備えで生死は決まる~つぶれない家、倒れない家具

阪神・淡路大震災の教訓(1995年1月17日午前5時46分発生)

窒息死・圧死のほとんどは即死

死者 6,000 人の 69% 約 4,400 人が家屋倒壊による圧迫死 内 90%が即死

負傷原因の大半は家具とガラス

負傷者 40,000 人 (重症 10,000 人、軽傷 30,000 人)

家具家電製品の下敷き	46%
ガラス金属建物構造物の破片	25%
天井、柱等の建物の下敷き	17%
転倒・転落	4%
その他	4%

頑丈な建物 大地震の直撃を受けても即座に倒壊しない頑丈な家

耐える

旧耐震基準	昭和 56 年(1981 年) 6月1日以前	震度5を想定
新耐震基準	昭和 56 年(1981 年) 6月1日以降	震度 6 以上に 1 回は耐えられる
新新耐震基準	平成 12 年(2000 年) 6月1日以降	新耐震基準をさらに厳しく 改正した耐震基準

室内の 安全

家具・重量物の固定	壁への直接ネジ・金具固定、棚の上下固定 粘着器具、突っ張り棒等	
ガラスの飛散防止	飛散防止フィルム	
火災対策	感震ブレーカー(停電復旧時の通電火災) 初期消火の準備 消火器、濡れ毛布やタオルでの訓練	

救助 手当て

閉じ込められた家族を助ける準備

応急手当の準備	薬箱(三角巾、		
7070K 3 — 42 1 MB	>IC111 (— / 3 1 1 1	""NII" - (1/2/ (2 (3)

逃げる

避難先を把握する	指定避難場所 佐野第二公園、佐野公園、六木公園、他
就寝中の備え	枕元ポーチ、LED ライト、スリッパ 軍手、ホイッスル
避難の準備 〜非常持ち出し袋〜	飲料水,非常食,ヘッドランプ,ラジオ,スマホ充電器,ホイッスル,衛生用品 非常用トイレ,雨具,応急手用品,ガムテープ,油性マジック,手ぬぐい等

9 自助② 地震発生時の心得

以下の行動はあくまで目安です。状況に合わせた行動をとりましょう。

地震発生

0~2 分後

とにかく自分の身を守ろう!

- ・テレビや携帯電話から「緊急地震速報」が流れたら、迷わず身を守る。
- ・丈夫な机などの下に身を隠し頭を守る。
 - →机の足をしっかり掴む。
- ・火元の近くにいる場合は火元などから離れる。
- ・慌てて外に飛び出さないことが大切

地震発生 2~5 分後

大揺れがおさまったら火の始末!

- ・ガスコンロやストーブの火を止める。
- ・初期消火できるのは、火が天井に届く前まで。
- ・近所に支援を求め、手に負えないときは

119番通報

地震発生 5~10 分後

火の始末の後は我が家の安全確認・出口の確保!

- ・家族の安全を確認 避難のための出入り口を確保
- ・正確な情報の収集 ラジオ、ネット SNS の情報には注意
- ・ブレーカーを切る。(感震ブレーカーの設置を推奨)

非常持ち出し袋を持って、安全な場所に避難

・指定避難場所 佐野第二公園、佐野公園、六木公園 または 自宅の近くで安全が確保できる場所 地震発生 10 分後~

外に出てから近所の安全確認!

近隣にけが人、行方不明者がいないか確認する。

※ 一時集合場所に参集しての安否確認は行わない。

脱出困難者を発見した時は、周りの人と協力して救出する(近助)。 火災を発見した時は、初期であれば消火活動に当たる。

- ※ 防災マップにより、近所の消火器の設置場所を確認しておく。
- 二次災害の恐れがあるので、ひとりではやらないこと!!

手に負えない時は、 119番通報



119 につながらないときは 佐野第二公園内 「佐野北災害対策本部」に知らせる

阪神・淡路大震災の教訓〜生き埋めや閉じ込められた際の救助〜

自力や家族・友人・隣人等の地域の力で救出:97.5%に対して、救助隊等の公助による 救出は2%であった。

『自助は最大の共助』

地域で個々に耐震化・家具の固定を進め震災時に無事でいるということはそれだけで大きく 地域に貢献することになります。

まずは、自分や家族の安全を確保するためにも、そして、地域の方を一人でも多く助ける側に まわるためにも、耐震化・家具の固定は最優先で取り組む必要があります。

10 自助③ 災害後に命を守る 「被災生活」中に災害死をしない

- 大規模災害時、避難所の環境は相当悪い。
- 特に高齢者、要支援者にとっては相当過酷な環境になる。
- ・避難所運営ガイドラインは最大 1 週間の生活を想定して策定されているが、この環境に数週間~数か月間滞在せざるを得なくなる可能性がある。
- ・避難所は生活が困難になった人が一時的に身を寄せる場所 7日目以降は、避難者が減ると統廃合されるので密度は変わらない。
- 運営は住人(周辺町会・自治会で避難所運営委員会を組織)

参考:避難所での一人あたりのスペース

感染症対策 従来 避難者が増えたら 4 m² / 1 人 (人の距離を 2m空ける) 1.65 m² / 1 人 (およそ畳 1 畳分) (横たわれる程度) 0.8 m² / 1 人 (座った状態)

- ・避難所では、まずは感染症を考慮して、1人4㎡の確保に努めます。
- ・感染症対策を考慮した避難所では、受入れ可能人数が大幅に制限されます。 (水害時の避難所では、ここから更に使用可能な階数が浸水しない階数のみ になるため、さらに受け入れ可能人数は制限されます。)
- ・避難者数や避難所の状況により、1人あたりのスペースを4㎡から狭めて避難者を受入れることが想定されます。

「避難所」へ行かないための準備

在宅避難の準備をする

・自宅が安全であれば、まずは在宅で避難を

在宅でも避難所の備蓄、支援物資を受け取ることができる!

→在宅避難しつつ、地域活動や避難所での活動への協力・支援

- ・ライフラインの停止に備えた準備
- ・生活に必要な物資を備蓄する(家庭の災害備蓄)。
- ・個別用品:支援物資としては入手しづらい「家族ならではのもの」を準備

1	それがなければ生活できない 体の一部分	眼鏡、常備薬、お薬手帳
2	オーラルケア用品	非常用歯磨き、入れ歯洗浄具
3	乳幼児・介護・ペット用品	1~2週間分の備蓄する(震災後 入手困難)

・インフラ代替品:電気、ガス、水道、トイレの停止に備えた代替手段の準備

++~~ L ¬ \ ¬	1日あたりボンベ1~2本(1本60分程度)
カセットコンロ	カセットボンベの使用期限は7年程度

生活物資

- ・日常備蓄(ローリングストック) フレッシュローテーション
- ・最低3日分、できれば1週間の水、食料、日用品を「日常備蓄」で準備
- ・普段飲食しているものを多めに買い、消費のつど買い足す。
- ・水 1日あたり 3リットル/1名 飲料水は水以外でも良い。
- ・衛生用品、生活用品
- ・防災専用のものは非常持ち出し袋に入れておく。

非常用トイレの備蓄

- ・トイレが最重要
- · 最低 1 週間分準備 **1名×5回×7日以上**
- ・トイレを使える期間がそのまま在宅避難の可能期間になる。

被災地から一時的に離脱する。

- ・被災地の外に親戚や知人がいるならば、一時的に疎開するのが最良
- ・特に医療の問題で、避難所生活がただちに生命に直結する場合は必須
- ・被災者が1名減れば、残った人にそれだけ多くの支援を実施可能

まち歩き(令和2年11月15日実施)での気付き

(1)消火器の設置状態

- ・固定されておらず、地震発生時に路上に転がる。
- ・特に、⑩大型、④中型は対策が必要
- ・⑤敷地内の少し奥にあり視認性がよくない。
- ・⑯佐野第二公園 緊急時にすぐ取り出せない。

(2) 危険エリア

六木 2-4 エリア	特にあいあい通り西側 消火器が配置されておらず、消火栓からも遠い	
佐野 2-33 エリア	新耐震基準以前の住宅が多く密集 一時集合場所(災害対策本部)に近いので、防災重点エリアにする。	

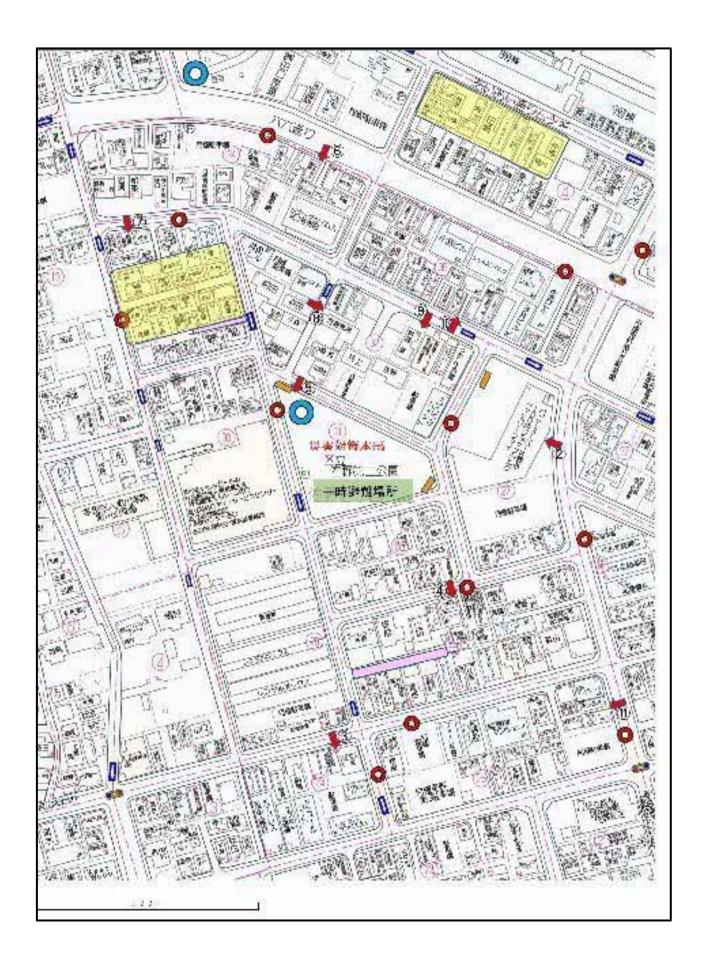
(3) その他

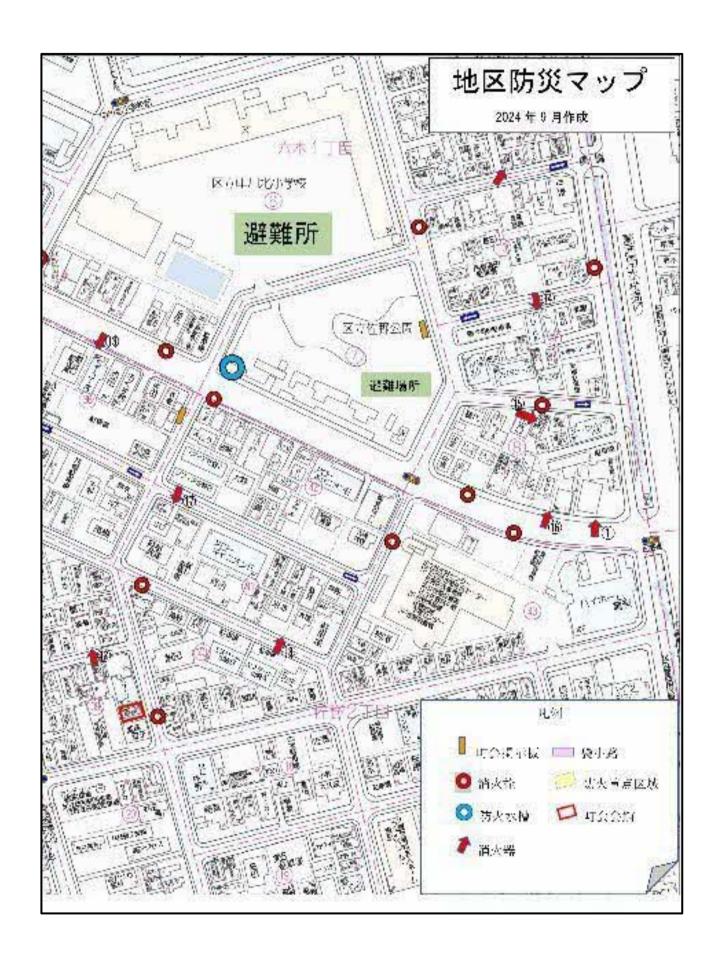
足立成和信用金庫に設置されているスタンドパイプ(施錠あり)

- →配備している物品は、佐野二丁目北町会に配備している一式と同じ
- →南京錠の鍵は、各店舗に配備しているが、緊急時の使用や、職員 不在時の火災発生時は、南京錠の部分のみを壊して使用可









情報収集手段

①区公式ホームページ

- ●大規模災害時には災害用のトップページに変更
- ●「避難情報発令状況」や「避難所の開設」など、 あらゆる情報を掲載



②区公式 Twitter · Facebook

●「避難情報発令状況」や 「避難所の開設」などの 情報を随時掲載





Twitter

Facebook

③区公式 LINE アカウント

●災害に関する情報や緊急事態に関する情報など のお知らせをリアルタイムに発信 「足立広報」も月2回発信



登録はこちらから!

【アカウント名】足立区【LINE ID】@adachicity

④A-メール

- ●「避難情報発令状況」や「避難所の開設」などの 情報をメールで配信
- ●「気象情報」や「避難所の開設」など、受け取る 情報をジャンル別に選択可能



(緊急情報や災害情報は登録者全員に配信)

⑤エリアメール・緊急速報メール

●足立区内にいる方の携帯電話・スマートフォンにたいして docomo、 au、Softbank のネットワークを介して緊急情報を一斉配信

⑥防災無線テレホン案内 **20120-966-944**

●防災無線の内容が聞き取りづらい場合などに放送内容を電話で確認 できるサービス

⑦臨時災害 FM

- ●災害発生時に自治体が開局する臨時の FM ラジオ放送局
- ●安否やライフラインの情報などを聞くことができる
- ●周波数は発災後に割り当てられるためホームページ等でお知らせ

8足立区防災アプリ

- ●空いている避難所や地域の被害状況を マッピング
- ●警報や避難指示などの通知
- ●交通や電気・ガスなどライフライン情報





水害対策編

1 地区防災計画【水害対策編】の策定について

(1) 地区防災計画の目的

私たちの住む地域は、中川と綾瀬川の間に位置し標高が低く、ひとたび洪水が発生すれば大きな被害を免れません。

幸い、これまで大きな浸水被害の記録はないものの令和元年に発生した台風第19号では、荒川、中川、綾瀬川が氾濫危険水位に達しました。

近年では台風の大型化、集中豪雨の頻発など各地で大きな被害をもたらしており、「いままで大丈夫だったから」は通用しなくなっています。

そこで、佐野二丁目北町会では、自助・共助により地域防災力を向上させ、 地区の被害を軽減することを目的に、「佐野二丁目北町会地区防災計画水害 対策編」を策定しました。

(2) 地区防災計画の位置付け

足立区地域防災計画 (区全体の実情に即した総合的な防災計画)

地域防災計画と地区防災計画とが連携 することにより地区の防災力を向上



地区防災計画

(居住者等による自発的な防災活動に関する計画)

区の「具体的事業計画」に反映される (防災訓練の実施、情報連絡体制の整備、防災に必要な物資や 資機材の確保、消防団との連携体制の強化等)

(3) 地区防災計画の対象、範囲等

1	対象とする災害	水害 (発生が予測されたときの対応)	
2	対象とする範囲	佐野二丁目北町会	
3	本計画の対象者	主として町会加入の住人	
	対象とする段階	・日頃の備え:防災計画に基づく防災対策 実行と会員への持続的啓蒙 ・分散避難:災害発生のおそれに関する 情報を得た時〜事前避難 ・命を守る行動:災害発生が迫った時〜直前 避難・垂直避難	

2 計画策定・見直し活動記録

計画策定にあたり、以下の活動を行いました。
今後、計画見直しの際には、随時活動記録を残すこととします。

(計画策定:令和3年3月)

(四日永足: 15/115 平 5 / 1)				
実施年月日	内容 記入者名	活動記録		
令和3年2月10日	第1回策定会議記入者:長沼	水害対策編策定の方向で、町会の役 割を検討した。		
令和 3 年 2 月 26 日	第2回策定会議記入者:長沼	計画案を災害対策課と協議した。		
令和3年3月17日	第3回策定会議記入者:長沼	修正案を確認し水害対策編を合意		
令和 3 年 6 月 18 日	第4回策定会議記入者:長沼	災害対策基本法改正に伴う修正		
令和4年4月14日	第5回策定会議記入者:長沼	コミュニティタイムライン区からの 情報の一部を修正		
	記入者:			
	記入者			
	記入者:			
	記入者:			
	記入者:			

3 地区の特性と被害想定

(1)地区の特性

- ・土地の高さ(標高)は概ね 0.2~0.8m
- ・アンダーパスは無い。
- ・緊急的に垂直避難できる建物がある。

(2)地区の被害想定と緊急避難建物〔足立区洪水ハザードマップより〕

中川北小学校(電話: 3620-3831) エレベーターなし

影響を 受ける河川	最大浸水深	浸水継続時間	使用可能階数
荒川	2.58m	2日4時間(3,155分)	2 階以上〇/3 階建て
利根川	3.47m	1 週間以上~2 週間未満	3 階以上〇/3 階建て
江戸川	1.8m	3 日以上~1 週間未満	2 階以上〇/3 階建て
中川	0.96m	3 日以上~1 週間未満	2 階以上〇/3 階建て
綾瀬川	0.42m	12 時間以上~1 日未満	すべての階〇/3 階建て
内水氾濫	0.5m未満	_	すべての階〇/3 階建て
高潮	0.5~3m未満	1 日以上~3 日未満	2 階以上〇/3 階建て

中川小学校(電話: 3605-7777) エレベーターあり

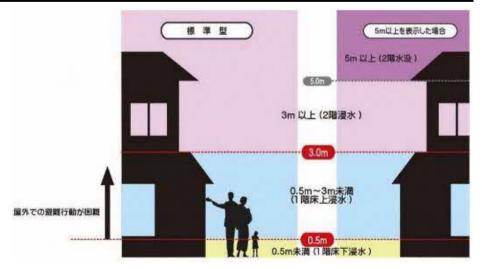
影響を 受ける河川	最大浸水深	浸水継続時間	使用可能階数
荒川	2.29m	2日7時間(3,355分)	2 階以上〇/3 階建て
利根川	3.32m	1 週間以上~2 週間未満	3 階以上〇/3 階建て
江戸川	0.73m	3 日以上~1 週間未満	2 階以上〇/3 階建て
中川	0.28m	3 日以上~1 週間未満	すべての階〇/3 階建て
綾瀬川	0m		すべての階〇/3 階建て
内水氾濫	0.5m未満		すべての階〇/3 階建て
高潮	0.5~3m未満	1日以上~3日未満	2 階以上〇/3 階建て

第十二中学校(電話: 3605-2734) エレベーターあり

影響を 受ける河川	最大浸水深	浸水継続時間	使用可能階数
荒川	3.04m	2日7時間(3,353分)	3 階以上〇/4 階建て
利根川	4.13m	1週間以上~2週間未満	3 階以上〇/4 階建て
江戸川	0.79m	3 日以上~1 週間未満	2階以上〇/4階建て
中川	1.09m	3 日以上~1 週間未満	2階以上〇/4階建て
綾瀬川	0m	_	すべての階〇/4 階建て
内水氾濫	0.5m未満	_	すべての階〇/4 階建て
高潮	0.5~3m未満	1週間以上~2週間未満	2 階以上〇/4 階建て

第十三中学校(電話: 3605-4711) エレベーターなし

影響を 受ける河川	最大浸水深	浸水継続時間	使用可能階数
荒川	1.37m	1日16時間(2,450分)	2 階以上〇/4 階建て
利根川	2.01m	1 週間以上~2 週間未満	2 階以上〇/4 階建て
江戸川	0.71m	3 日以上~1 週間未満	2 階以上〇/4 階建て
中川	0m	_	すべての階〇/4 階建て
綾瀬川	0m	_	すべての階〇/4 階建て
内水氾濫	0.5m未満	_	すべての階〇/4 階建て
高潮	0.5~3m未満	12 時間以上~1 日未満	2階以上〇/4階建て



4 地区防災計画(水害編)の構成

(1) 水害の発生が想定されるときの行動<コミュニティタイムライン>

備えまでの時間 (気象情報)	区の行動	町会の行動	各家庭の備え	
3日~5日前 台風予報 (進路・勢力等)	・注意の呼びかけ	・LINE 役員会開催 (情報受信の都度)	・区の情報確認 ・必要な常備薬確保 ・備蓄品、非常持ち出し品 を確認	
2日前 ・大雨注意報 ・洪水注意報 ・台風の進路	・避難所開設検討・ 検討 ・自主避難など注意 の呼びかけ	・要請により避難所運営委員を派遣	・縁故等避難の判断 →車、公共交通機関の利 用は2日前までに実行	
1日前 ・大雨警報 ・洪水警報 (氾濫注意情報)	・避難所開設準備 ・高齢者等避難	・一次、二次避難所を同時期に開設 ・区の避難行動要支援者 水害時個別避難計画書 に基づき対応	・在宅避難 →必要物品を上層階に・ 避難所避難 →非常持ち出し品、飲食 品の準備	
半日前 ・大雨特別警報 ・洪水予報 ・氾濫警戒情報 〈避難判断水位〉	・避難指示	同上	・避難所に避難完了	
5 時間前 ・洪水予報 ・氾濫警戒情報 〈避難判断水位〉		・身の安全確保 (垂直避難など)	・身の安全確保 (垂直避難など)	
3時間前		・身の安全確保 (垂直避難など)	・身の安全確保 (垂直避難など)	
0 時間前	緊急安全確保	・直ちに安全確保	・直ちに安全確保	

(2) 在宅避難は相当過酷!<<<避難所避難はさらに過酷!!

自宅にとどまった場合の生活イメージ (長期化のリスク)





(3) 日頃の取り組み

- ★自分と家族の命を守る「死なないための備え」
- ★災害後に命を守る「被災生活」中に災害死をしない
 - ① 足立区災害情報の取得

避難判断のよりどころ

- ② 避難行動の準備
- (3) **縁故等避難**

浸水の恐れのない家族・親戚・知人の家やホテル等への避難 48時間前までに判断し行動する

4 在宅避難

2週間分以上の備蓄 浸水しない階への運び上げ

⑤ 避難所への避難

非常持ち出し品を準備し避難 避難所では可能な限り避難所運営に協力

避難所に行く際は

- ◆食料・飲料水・タオル・上履きは持参
- ◆物資の受取りは避難者自身で
- ◆ごみは原則避難者自身が持ち帰り
- ⑥ 緊急的な垂直避難

命を守る行動 とにかく上層階へ

⑦ 避難の継続

避難情報(避難指示等)が足立区から 発令されている間は、**避難先に留まる**

台風が過ぎ去り、雨風が止んだからといってすぐに帰宅しないこと! 上流で降った雨により、河川の水位が上がり続けている可能性あり

«MEMO»	

地区防災計画修正案加除修正リスト

令和7年2月5日 佐野2丁目北町会

ページ	項目	加除修正事項
表紙		震災対策編、水害対策編を加筆
5	1 (3)	地区防災計画の対象、範囲等のうち 本計画の対象者を「町会エリアにいる全ての人」 から「町会員とその家族」に変更
8	4 (1)	地震発生時の行動 フロー図 班編成と役割を整理、統合 4 班から 3 班体制に変更
9	5	防災区民組織の構成 役割と担当部の関係を明確化
10	6	防災資機材備蓄品リスト トランシーバーセットを追加
13	8	旧耐震基準の備考欄修正 「震度6以上に耐えられない」から 「震度5を想定」に訂正
14		「プレーカーを切る」を強調表記 (感震ブレーカーの設置を推奨)を追記
15	教訓	「行政」によるを「公助」に訂正